

中学部 総合的な学習の時間「NEW文房具開発」について

1 学習目標（育てたい力）

<ul style="list-style-type: none"> ・学習する楽しさを知り，自ら意欲的に学習しようとする力。 ・課題解決に向け，必要な情報や資料を集め，整理する力。 ・課題解決に向け，既習の知識や概念をもとに考察する力。 ・分かりやすい発表をする力。 ・グループで協力し，課題解決できる力。 ・グループに，得意分野で貢献する力。

2 指導計画

月日	時	授業内容	ポイント	学習形態		
				一斉	個別	協働
7/17 (火)	1	学習のねらいと授業内容の確認	『NEW 文具』を考えることを知る。 ・学習の見通しをもつ ・商品の特性を十分 PR できる発表 〈プレゼン〉 ・より現実味のある商品の開発	○		
		今あるいろいろな文具について調べる。	基本的な機能・付加されている機能・装飾・形・素材・使いやすさ等できるだけたくさん調べる		○	
	2	「これはすごい文具」	身の回りにある「これはすごい文具」を探しだし，その理由も書く。 発表プレゼン作成，発表。		○	
8/28 (火)	3	自分の力で「NEW 文具」を考えてみる	工夫したところ・セールスポイント・新機能 自己紹介を考える		○	
	4	会社をつくろう	グループ内で自己紹介 グループごとに会社の名前を考える。 会社のポスターを作る。			○
9/4 (火)	5	講義 ユニバーサルデザインについて	講師の話聞き，感想を記入する。	○		
	6	会社で調べよう	「考えた NEW 文具」「これはすごいモノ」から特にひとつ取り上げて，グループで深く追求する（調べる）			○

月日	時	授業内容	ポイント	学習形態		
				一斉	個別	協働
9/11 (火)	7	会社をつくろう	グループ内で自己紹介 グループごとに会社の名前を考える。 会社のポスターを作る。			○
	8	会社で調べよう いろいろな文具について調べる。	基本的な機能・付加されている機能・装飾・形・素材・使いやすさ等 できるだけたくさん調べる		○	
			調べた文房具を紹介し合う。			○
9/18 (火)	9	会社で調べよう いろいろな文具について調べる。	調べた内容をデジタル化する。	○		
9/25 (火)	10	講義「商品開発」について 会社で調べよう	講義を聞く。	○		
			基本的な機能・付加されている機能・装飾・形・素材・使いやすさ等、できるだけたくさん調べる		○	○
	11	会社で調べよう	「考えた NEW 文具」「これはすごいモノ」から特にひとつ取り上げて、発表用にまとめる。グループ毎に発表。 コラボノートでコメント・感想を書く			○
10/2 (火)	12	講義「文具紹介」(企業)	講義を聞き、開発の参考にする。	○		
			ひとりひとりの考えを発表し合い、開発する『NEW 文具』を決定する。			○
	13	ブース形式相談会 (企業) 会社で考えよう	グループで各ブースを回り、展示物を見ながら、質問などを行う。 開発する文房具の参考にする。			○
10/16 (火)	14	講義「ウェビング」について 中間発表会に向けて活動しよう	講義を聞く。	○		
			ウェビングを使い、アイデアの幅を広げる 準備の役割分担をする (資料作成、発表原稿作成、等)			○
	15	中間発表会に向けて活動しよう	役割の仕事を進める。 グループでひとりひとりの考えを練りあい、統一感のあるものにまとめていく。			○

月日	時	授業内容	ポイント	学習形態		
				一斉	個別	協働
10/23 (火)	16	中間発表会に向けて活動しよう 講義「文具紹介」(企業)	講義を聞き、開発の参考にする。 発表時の役割分担をする(発表係、資料提示係、質問受付担当、進行係、等)	○		○
	17	中間発表会に向けて活動しよう	発表の練習をする。			○
10/27 (土)	18	学習発表会において中間発表会	協力して発表する 開発中の商品のアイデアスケッチ程度を紹介する			○
			コメント・感想を書く 学習発表会参加者から評価してもらう		○	
10/30 (火)	19	講義「ブレインストーミング」について 中間発表会を受けて更に考える	よせられた意見などを参考に、再度開発中の商品について見直しをはかる。 その商品のキャッチフレーズ(コマーシャル)をブレインストーミングにより作成する。			○
	20	講義「文具紹介」(企業) 中間発表会を受けて更に考える	講義を聞き、開発の参考にする。 よせられた意見などを参考に、再度開発中の商品について見直しをはかる。	○		○
11/6 (火)	21	中間発表会を受けて更に考える	よせられた意見などを参考に、再度開発中の商品について見直しをはかる。			○
	22	中間発表会を受けて更に考える	よせられた意見などを参考に、再度開発中の商品について見直しをはかる。			○
11/13 (火)	23	最終発表に向けてのプレゼンテーション準備	発表の準備のための仕事内容を確認し、分担する。 発表するときの役割分担をする。			○
	24	最終発表に向けてのプレゼンテーション準備	自分の役割分担の仕事に取り組む。 準備の進捗状況を確認し合い、協力しながら作業を進める。		○	○
11/20 (火)	25	最終発表に向けてのプレゼンテーション準備	自分の役割分担の仕事に取り組む。 準備の進捗状況を確認し合い、協力しながら作業を進める。		○	○
	26	最終発表に向けてのプレゼンテーション準備	自分の役割分担の仕事に取り組む。 準備の進捗状況を確認し合い、協力しながら作業を進める。		○	○

月日	時	授業内容	ポイント	学習形態		
				一斉	個別	協働
12/4 (火)	27	最終発表に向けてのプレゼンテーション準備	自分の役割分担の仕事に取り組む。 準備の進捗状況を確認し合い、協力しながら作業を進める。		○	○
	28	最終発表に向けてのプレゼンテーション準備	過去の発表よりインパクトの強くなるように脚色 公開発表の練習をする。			○
12/5 (水)	29	公開発表会	協力して発表する 相互のプレゼンテーションを分析・評価し、 学びを共有することにより、自他の改善すべき課題に気づく。 よせられた意見などを参考に、開発商品についてのプレゼンテーションの検討、質疑応答方法・内容について見直し。			○
			コメント・感想を書く		○	
12/7 (金)	30	最終発表会ポスターセッション 協力企業：ゼブラ，キングジム，ニチバン	グループごとに発表する。 参加者から評価してもらう。			○
	31	最終発表会プレゼンテーション 協力企業：同上	グループごとに発表し講評を受ける。表彰を受ける。 コメント・感想を書く		○	○
12/11 (火)	32	まとめ	レポート作成の役割分担をする 最終発表時のアドバイスを参考に、それぞれのグループの開発商品に対してレポートをまとめる。			○
	33	まとめ	最終発表時のアドバイスを参考に、それぞれのグループの開発商品に対してレポートをまとめる。			○
12/18 (火)	34	まとめ	最終発表時のアドバイスを参考に、それぞれのグループの開発商品に対してレポートをまとめる。			○
	35	まとめ	最終発表時のアドバイスを参考に、それぞれのグループの開発商品に対してレポートをまとめる。 アントレプレナー学習に関する自己認識・発見レポート作成。		○	